

「代表取締役」「取締役」などの会社法上の役職名、「専任の宅地建物取引士」「政令で定める使用人」などの宅建業法の職名を記入する。※兼任する役職はすべて記入。

類 (3)

記入例

(A 4)

略歴書

本人が取引士である場合
宅建士登録番号の記入

(フリガナ) 氏名	トツトリ タロウ 鳥取 太郎		
職名	代表取締役、専任の宅地建物取引士	登録番号	(鳥取) 00●●●●号
職歴	期間	従事した職務内容	
	自 H23年4月1日 至 H25年3月1日	株式会社鳥取県庁建設 営業	
	自 H26年4月1日 至 H28年3月1日	無職	
	自 H28年4月1日 至 H30年6月30日	株式会社鳥取県庁不動産	
	自 H30年7月1日 至 年 月 日	同社 取締役	
	自 R2年7月1日 至 年 月 日	同社 代表取締役	
	自 年 月 日 至 年 月 日	現在に至る	
【記入上の注意点】 <ul style="list-style-type: none"> ○学校卒業からの職歴をすべて記入してください。(宅建業以外の職歴も含む) ○期間は空白がないように記入してください。(自、至ともに) ○他の法人と兼務・兼任されている場合、常勤／非常勤を記載してください。 (上記に関連し、追加で書類を提出いただくことがあります。) ○1年以上の空白がある場合は、無職、専業主婦、企業準備等実態に合わせて記入してください。 ○最後は現在に至るとして記入してください。 			

上記のとおり相違ありません。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

氏名

鳥取 太郎